

コロンビア月例報告（7月分）

内政・外交状況

2017年9月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 1日 囚人の釈放に関する法律の施行
- 2日 FARC最高司令官の入院
- 4日 FARC協同組合の発足
- 5日 FARC離反兵によるコロンビア人国連職員の解放
- 10日 恩赦法の適用
- 19日 内閣改造のための全閣僚による辞表提出
- 20日 通常国会の開会
- 24日 FARCによる政党発足予定日の発表
- 28日 和平代理人の任命
- 31日 和平高等弁務官の交替
- 31日 FARCによる財産リストの提出

【外交】

- 4日 コロンビア外務省による北朝鮮非難声明
- 10日 オルギン外相の国連安保理出席（於：ニューヨーク）
- 12日 エルナンデス・ホンジュラス大統領の当国訪問
- 13～14日 オルギン外相のアンデス共同体外相会合出席（於：ペルー）
- 17日 サントス大統領のキューバ訪問
- 21日 ミミツァ国際協力・開発担当欧州委員及び
グラツィアーノ国連食糧農業機関（FAO）事務局長の当国訪問
- 26日 ベネズエラに対するメキシコとの共同声明
- 30日 ベネズエラの制憲議会選挙を非難する声明の発出
- 31日 駐ベネズエラ大使の帰任延期

Ⅱ 本文

【内政】

1 囚人の釈放に関する法律の施行

1日、囚人の釈放に関する法律が施行された。同法は判決が下されないまま2年間収監されている囚人の釈放を認めるもの。殺人や汚職等を犯した者も含まれる。合計9,634名が釈放対象となる。

2 FARC最高司令官の入院

通称ティモチェンコFARC最高司令官は、2日からメタ県のビジャビセンシオにおいて入院していたが、脳虚血と診断され、その後キューバに移送され治療が継続されることとなった。

3 FARC協同組合の発足

4日、FARCの共同組合が発足した。同協同組合は「共同社会経済団体」(Ecomun)と呼ばれ、元FARC兵による様々なプロジェクトを支援する。

4 FARC離反兵によるコロンビア人国連職員の解放

5日、FARC離反兵であるFARC第1戦線は、2か月前に誘拐したコロンビア人国連職員を解放した。

5 恩赦法の適用

10日、サントス大統領は恩赦法を適用し、3,252名の元FARC兵を政治犯として恩赦した。これまでに恩赦された元FARC兵は合計7,405名となった。

6 内閣改造のための全閣僚の辞表提出

19日、全閣僚がサントス大統領に対して、大統領が内閣改造をできるようにするための形式的辞表(全閣僚連名)を提出した。

同辞表には、近日中に第二次サントス政権の最後の1年となることから、サントス大統領に内閣改造の裁量を与えたい旨記載されていた。

7 通常国会の開会

20日、独立記念日を迎え、サントス大統領は通常国会を開会し、上院議長(国会議長を兼ねる)にはエフライン・セペダ上院議員(保守党)が、下院議長にはロドリゴ・ララ下院議員(急進改革党)が選出された。

8 FARC政党発足予定日の発表

24日、FARCは9月1日に正式に政党となる旨発表した。

9 和平代理人の任命

28日、コロンビア政府は、709名の刑務所に収監中のFARC兵を和平代理人(gestores de paz)に任命した。同役職は3か月間の任期となり、その期間刑務所から釈放されるが、恩赦を意味するものではない。その任務は、FARCの社会統合の促進等とされる。本件措置は、恩赦法の適用が遅れていることに対してFARCからの批判をかわす目的もあるとされる。

10 和平高等弁務官の交替

31日、サントス大統領は和平高等弁務官の交替を発表した。ハラミージョ和平高等弁務官は駐ベルギー兼EU代表部大使となり、ロドリゴ・リベラ現駐ベルギー兼EU代表部大使(元国防大臣)が後任の和平高等弁務官となる入れ替え人事が行われた。同人事異動の目的は、ポスト・コンフリクト投資のための資金集めをEUにおいて行うこととされる。

11 FARCによる財産リストの提出

31日、FARCは国連ミッションに対して財産リストを提出した。

【外交】

1 コロンビア外務省による北朝鮮非難声明

4日、コロンビア外務省は、北朝鮮の弾道ミサイル発射に関し、国連安保理決議違反であるとして非難する声明を発出した。

2 オルギン外相の国連安保理出席(於: ニューヨーク)

10日、オルギン外相は、国連安全保障理事会に出席した。同理事会は、全会一致で決議第2366号を採択し、元FARC兵の社会統合を検証するための第二の国連ミッション設置を承認した。オルギン外相は、グテーレス国連事務総長と会談し、同事務総長は、和平プロセスへの支持を改めて表明した。

3 エルナンデス・ホンジュラス大統領の当国訪問

12日、当国カルタヘナにおいて、サントス大統領及びオルギン外相は、エルナンデス・ホンジュラス大統領と会談した。同会談においては、治安協力、コロンビアによる北部三角地域繁栄計画への支援、貿易・投資の促進等につき協議された。なお、エルナンデス大統領は、メデジンで開催された世界コーヒー生産者フォーラムに出席するため、11日からコロンビアを訪問していた。

4 オルギン外相のアンデス共同体外相会合出席（於：ペルー）

13, 14日, オルギン外相は, アンデス共同体外相会合に出席するため, ペルーを訪問した。13日, オルギン外相は外相会合に出席した後, 在リマ・コロンビア総領事館の新事務所の開所式に出席した。14日, オルギン外相は, コロンビアの熱帯植物（サチャ・インチ）のプロモーションのために同地を訪問中のミッションと会談した。

5 サントス大統領のキューバ訪問

17日, サントス大統領はキューバを公式訪問した。オルギン外相, ラコトゥール商工観光相, ハラミージョ和平高等弁務官及びハラミージョPROCOLOMBIA総裁に加えて12名の企業家も同行した。

サントス大統領は, ラウル・カストロ国家評議会議長と会談し, FARCとの和平合意に果たしたキューバによる支援の決定的な役割に対して謝意を表明した。

また, キューバ・コロンビア・ビジネス・フォーラムが開催され, サントス大統領が参加し, コロンビアがキューバへの投資に関心を有する旨表明した。

6 ミミツァ国際協力・開発担当欧州委員及びグラツィアーノ国連食糧農業機関（FAO）事務局長の当国訪問

21日, ミミツァ国際協力・開発担当欧州委員及びグラツィアーノ国連食糧農業機関（FAO）事務局長が当国を訪問し, サントス大統領, オルギン外相及びイラゴリ農業・地方開発相と会談し, コロンビアの和平プロセスへの支援としての食糧安全保障に関する技術協力プログラムを発表した。

7 ベネズエラに対するメキシコとの共同声明

26日, コロンビア外務省は, 米国CIA長官がベネズエラにつき言及した内容を捉え, コロンビア及びメキシコが米国と共に, ベネズエラ政府に悪影響を与えているとの同国による批判に反論するメキシコ政府との共同声明を発出した。

8 ベネズエラの制憲議会選挙を非難する声明の発出

30日に実施されたベネズエラの制憲議会選挙に対し, コロンビア外務省は同日付声明を発出し, ベネズエラ国軍による暴力及び抑圧を強く非難し, 力による非合法的な制憲議会の設置はベネズエラにおける民主的な共生を分断する旨述べた。

9 駐ベネズエラ大使の帰任延期

31日, オルギン外相は, ロサノ駐ベネズエラ大使を帰任させない旨発表した。同決定はベネズエラにおける制憲議会選挙の実施に対して抗議するためのものとされた。